

牧之原市第4次障がい者計画・第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画（素案）
 に対するパブリックコメントの結果について

- 1 実施期間 令和5年11月28日（火）から令和5年12月27日（水）まで 30日間
 2 提出意見 5名 16件
 3 意見の内容と回答

No.	頁	項目	ご意見・ご質問	回答（市の考え方）	
1	—	—	<p><はじめに></p> <p>私は、聴覚障害6級（実態は4級）障がい者手帳所持者です。各項目に関するコメントは聴覚障がいの観点から記入しました。</p> <p>障がいに自覚がない、気付いていない人、補聴器は高価だから買わない（買えない）人、若い人の中には難聴を隠している人など潜在的な聴覚障がいは数字に現れているものの数倍はあるのではないのでしょうか。</p> <p>実態を正しく把握しておくことは適切な福祉行政、最適の予算執行のためにも不可欠なものと思われまます。職員の仕事量が増えて負担が大きくなりますが、無理なく計画的に実態把握をするよう望みます。</p> <p>（年度の末期に各戸に配布される健（検）診申込書に「問診項目」として付け加えるなど如何でしょうか）</p>	<p>各戸への健診申込書（世帯票）の送付は、令和2年度を最後に廃止しております。また、市が実施する特定健診及び長寿健診には聴力検査が無いため、問診に加えることは困難です。</p> <p>一般的に聴力は加齢とともに低下していきます。したがって、高齢化の進展とともに難聴を有する方は増加すると考えられます。</p> <p>国立長寿医療研究センターの資料によると、「難聴有病率は65歳以上で急増し、70歳代前半では男性の約5割、女性の約4割、70歳代後半では男女とも約7割、80歳代では男性の約8割、女性の約7割に軽度難聴以上の難聴がみられる。」とされています。</p> <p>こうした研究結果から実態を推測することは可能ですので、手帳を取得していない人にも対応した取組を検討します。</p>	
2	12	第2章	1 統計	<p>耳の障がい者は121名だが、潜在的にはもっと多いはず。手帳所持者以外も含めて把握しておく必要があります。重い難聴又は生活に支障のある聴力でも手帳を申請していない人も相当あるように思う。</p>	NO.1と同じ

No.	頁	項目		ご意見・ご質問	回答（市の考え方）
3	54	同上	4 ヒアリング 結果	<p><基本方針8 情報・コミュニケーションの充実></p> <p>市役所各課窓口に「聞こえにくい方はお知らせください」の表示があれば職員もゆっくり、わかり易く話せるだろう。同報無線の内容がラインで同時に伝えられてくるのは大変ありがたい。</p> <p>市のHPの各課には fax 番号も入れてほしい。連絡、問い合わせ先は tel だけでは困る。聴覚障がい者は電話で話せません。去年のアンケートにも書きましたが、fax も必ず入れてください。</p>	<p>ご意見を参考に効果的な表示を検討します。</p> <p>また、聞こえない方や聞こえが良くない方への対応は、筆談を用いるなど、コミュニケーションが可能な方法で行います。</p> <p>現在、市では同報無線の文字情報のほか、各種イベント情報などを市公式LINEとTeaメールで配信しており、引き続き暮らしに役立つ情報を発信してまいります。</p> <p>なお、市ホームページには記事作成担当課の問合せ先に電話番号のほかFAX番号を掲載しており、電子メールでの問い合わせにも対応しています。</p>
4	58	同上	5 市の現状と課題	<p><基本方針3 保健・医療・福祉サービスの充実></p> <p>聴覚障がい者は、市の胃がんレントゲン検査の受診が不可能又は困難です。X線撮影の際、姿勢の指示が聞こえません。従って受診できないため、代わりに胃カメラの検査をお願いしましたが、未だに実現していません。</p>	<p>身体状況によりレントゲン検査が困難と認められる方には、胃カメラによる検査を案内していますので、事前に健康推進課へご相談ください。</p> <p>なお、国民健康保険または後期高齢者医療に加入されている方に対しては、人間ドック費用の助成（※）を実施しています。健診機関での胃カメラ検査を選択することもできますので、ご検討ください。</p> <p>（※）助成を受けられる場合は同年度に特定健診、長寿健診、胃がん・大腸がん検診を受けることはできません。</p>
5	62	同上	同上	<p><基本方針6 生活環境の整備></p> <p>バリアフリー、ユニバーサルデザインの考え方が主として肢体不自由の障がいに向いているようですが、聴覚障がい者にとってのユニバーサルデザインも考えてください。</p>	<p>情報通信技術の進歩によりインターネットで注文や予約ができるなど、音声によるコミュニケーションが必要ない場面も増えています。</p> <p>市では、公式LINEなどを用いた音声の文字情報化や手話通訳者派遣事業、補装具や日常生活用具の支給を実施しています。</p> <p>さらなるバリアフリーの推進に向け、すべての人が相互理解を深め支えあう「心のバリアフリー」の啓発にも努めます。</p>

No.	頁	項目		ご意見・ご質問	回答（市の考え方）
6	64	同上	同上	<p><基本方針8 情報アクセシビリティ・コミュニケーションの充実></p> <p>聴覚障がい、コミュニケーション障がいの最たるものとの認識が大事です。一般論ですが、障がい者は、知識の修得の速度や量が健常者に比べて遅く少ないようです。障がい者向けの文書などはなるべく平易なことばと聞きなれない外国語は使わずにさせていただきたい。特に専門用語（例 P136 ノーマライゼーション）</p>	<p>外来語（カタカナ語）については、「バリアフリー」や「コミュニケーション」「コメント」など理解率が高く、一般的な語として定着しているものと、理解率が低いものがあります。</p> <p>外来語に新しい考え方を提唱する役割があることも考慮しつつ、使用にあたっては、適切な日本語に言い換える、あるいは注釈を加える等の配慮を行います。</p> <p>本計画には、資料編に用語解説集を加えることとします。</p>
7	68	第3章	2基本方針	<p><基本方針8 情報アクセシビリティ・コミュニケーションの充実></p> <p>文章には電話番号とともにファックス番号、メールアドレスも付してほしい。</p>	<p>多様な手段でコミュニケーションが図れるよう、市からの通知、お知らせ等には電話番号、ファックス番号、メールアドレスを記載することを基本とし、全庁的に取り組みます。</p>
8	68	同上	同上	<p><基本方針8 情報アクセシビリティ・コミュニケーションの充実></p> <p><ヒアリンググループの設置></p> <p>ヒアリンググループ（Hearing Loop）は大ホールから小部屋まで設置できる電波発信装置です。マイク→アンプ→ループ状コイルを通じて電波に音声をのせて場内にいる補聴器使用者に伝えるものです。私は実際に菊川市の福祉会館で体験しましたが、全くすばらしいものでした。私のような高度難聴者でも十分に聞こえるのですから、中等度の方には更に有効と思われれます。</p> <p>市内には、補聴器を装着している人の数は相当なものと思います。受付窓口、説明会場（検診会場など）、教室、議場に是非設置できるよう希望します。これこそ、具体的で投資効果の明瞭な福祉行政の好例と言えるでしょう。手続き、検診、学習など重要事項の聞き漏らしは致命的な不利益を障がい者に与えることになるのです。是非、ご検討を。障がい者の社会的連携の為にも！！</p>	<p>85頁、基本方針6「生活環境の整備」施策1「生活環境のバリアフリー化の推進」のNo.1からNo.3の事業・取組の一環として、他市町の導入状況や効果などを調査、研究します。</p>

No.	頁	項目	ご意見・ご質問	回答（市の考え方）
9	73	第4章 基本方針1	<p><施策3「9 ボランティア活動の促進とマッチング支援」> 基本方針1 施策3に新たに行う事業として、ボランティア活動の促進とマッチング支援とありますが、一方で18ページには市内で活動するボランティア団体は、わずか4団体20名に留まっています。本当に4団体だけなのですか。</p> <p>当事者の親として思うことは、障がいのあるこども達も健常児と同じように、同世代からより大きな刺激を受け成長を促されています。また本人達も同世代との関わりを望んでいます。小さいころから互いに交流する機会を持つ事は、大人が思う以上に子供たちの心の発達や、お互いの心を繋ぐ大切なことなのだと思います。</p> <p>ボランティアという枠だけにとらわれず、広く交流活動の場のマッチングが出来たら良いと思います。当事者団体としても自分たちの活動を積極的に情報発信していきたいです。</p>	<p>18頁に掲載している団体は、牧之原市社会福祉協議会が事務局を務める「牧之原市ボランティア連絡会」に登録があり、かつ障がい福祉分野で活動する団体です。連絡会に加入せずに活動している団体や個人、高齢者福祉や子育てなどの福祉関連分野で活動している方は他にいらっしゃると思われます。</p> <p>昨年度実施したアンケート結果から、今は何もしていないけれども、ボランティア活動に興味がある市民が多く存在することがわかっています。</p> <p>社会福祉協議会と連携し、福祉現場のボランティアニーズを把握、集約して活用するほか、交流の場を通じてボランティア活動への動機づけを図りたいと考えています。そのため、72頁の「障がい者団体の活動紹介」を市からも積極的に発信することとしています。</p>
10	85	同上	<p><施策1「2 福祉施設の整備促進」、「3 庁舎・コミュニティセンターの整備促進」> 防災センターなどにも赤ちゃんのおむつ替えのベッドだけでなく、児童・成人の方たちも使える大きいベッド（折りたたみ）の設置を希望（新しいサーボやジーボにも設置がみられなかった）</p>	<p>市有施設の新設や改修時においては、できる限り利用者のニーズに配慮できるよう関係部署間の情報共有を図ります。</p> <p>令和6年度に供用を開始する多目的体育館は、災害時には避難施設として利用する予定であり、トイレには大型ベッドを設置します。</p>
11	98	第5章 1 成果目標	<p><①児童発達支援センターの設置> 今現在、施設の利用を希望しているのにもかかわらず、利用ができない児童保護者の相談窓口は確保できているのか。</p>	<p>相談窓口は、主に市の福祉こども相談センター、指定の障害児相談支援事業所、市の委託相談支援事業所などがあり、連携して支援します。しかしながら、利用者の特性、施設等のサービス供給状況などによって、必ずしも希望に合った利用ができない場合があります。</p>

No.	頁	項目		ご意見・ご質問	回答（市の考え方）
12	98	同上	同上	<p><②障がい児の地域社会への参加・包容（インクルージョン）の推進></p> <p>現在、保育所等訪問についての学校・園への周知が不十分なので、実施できる事業所の確保や制度の説明会を学校、保護者向けにしていく必要があると思います。</p> <p>義務教育学校の新設に向けて、インクルーシブ教育を進めるに当たり、福祉の視点（ユニバーサルデザイン・合理的配慮）を盛り込んでいただきたいと思います。その際に、保育所等訪問が支援の一つとして機能すると対象のこどもや保護者の利益につながると思います。学校教育との話し合い、連携が重要になると考えます。</p>	<p>保育所等訪問支援の指定事業所は市内に1事業所ありますが、利用につながっていないのが現状です。</p> <p>まずは、当事業の目的や実施内容を関係者で共有する場を設けたいと考えます。</p> <p>現在、障害者自立支援ネットワークこども部会において、教育と福祉の連携をテーマとした活動を実施していますが、引き続き、インクルージョンの推進に向けた取組を進めてまいります。</p>
13	98	同上	同上	<p><③主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の確保></p> <p>令和8年度末までとあるが、今現在、利用したくてもできない児童がいます。早めの働きかけと保護者の相談窓口を徹底していただきたいと思います。（保護者の生活や不安を少しでも取り除いてほしいです）</p>	<p>当事業の実施には、看護職員や機能訓練指導員等の専門職の配置が必要です。市内事業所への体制構築の働きかけを継続するとともに、近隣市町との連携も図ります。</p> <p>相談支援については、県や医療的ケア児等コーディネーターとの連携による支援体制を検討します。</p>
14	109	同上	2見込量	<p>当事業所は、医療的ケア・重心の方が多くご利用されています。入浴サービスの要望がとても高く、事業所としても提供できればと検討しておりますが職員配置などの関係からなかなか難しいところがあります。入浴サービスを提供する社協の職員数も潤沢ではないと聞いています。</p> <p>例えば、当事業所の利用者様が社協の入浴サービスを利用する際に、施設の入浴設備を利用して社協の職員、事業所の職員が協力して利用者様に入浴サービスを提供することはできないでしょうか。また、市町をまたいでご利用されている利用者様にも入浴サービスを提供できないでしょうか。</p> <p>入浴機器は高額でなかなか購入や買い替えが難しいものですので、地域資源を上手に利用しご家族・利用者様が少しでも長く住み慣れた自宅で生活が続けられる手助けができればと思います。</p>	<p>指定障害福祉サービス事業所の人員基準や設備基準における条件の確認や法人間の協議が必要になると考えます。</p> <p>限られた資源を最大限活用することは、慢性的な人手不足にある福祉現場において有効ですので、こうしたアイデアを障害者自立支援ネットワークの議題に取り上げ、検討したいと考えます。</p>

No.	頁	項目		ご意見・ご質問	回答（市の考え方）
15	133	第6章	計画推進	<p>障がい者を取り巻く環境は過去6年間を考えても大きく改善されたとは言えません。むしろ人口減少から障がい児者施設等の現場では人材不足に悩まされ、当事者の最低限の生活さえ圧迫されつつある状況です。6年後に何も変わっていない、ということにならないためには、計画の円滑な推進による加速度的な現状の改善が求められています。</p> <p>計画の推進にあたっては、「計画に即した施策の展開が円滑に行われるよう、事業・取組ごとに実施計画を作成して、具体的な目標を年度単位で設定する」また「計画の推進体制としては、自立支援ネットワークをその中心に位置づけ、ネットワークが持つ機能を発揮しながら各課題の取組を進めます」とあります。</p> <p>作成した事業・取組ごとの実施計画は速やかに推進の肝となる自立支援ネットワーク各専門部会の部会員と共有し、今後の各部会活動の柱として掲げていただきたいと思います。膨大な取組をきめ細かく進める事は大変なものと存じますが、皆で知恵を出し合って一步一步結果を残して行ってほしいです。当事者団体としてできる限り協力をしていきますので、今後ともよろしくお願い致します。</p>	<p>様々な課題に対応し、施策を進めるためには、目標設定が必要であると考え、本計画に基づく実施計画を作成することとしました。</p> <p>また、実施計画は、令和6年度初回の障害者自立支援ネットワーク全体会に計画案を報告できるよう、専門部会及び関係機関と調整しながら作成を進めます。</p> <p>計画に定めた各取組は、市行政だけで進めることはできません。計画の内容を市民に広く周知し、自主的、主体的な活動を促してまいります。</p> <p>当事者団体の皆さんとともに計画の推進に向けた取組を進めたいと考えていますので、今後ともご協力をお願いします。</p>
16	136	同上	同上	<p>ノーマライゼーション 一般向けには専門用語は最小限にとどめ、どうしても必要なら解説（注）を付してください。</p>	<p>用語のもつ概念の普及を図る観点から、解説を加えます。</p>